

製品名: XRCC4 (リン酸化 Ser260) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06117**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	

抗原情報

遺伝子名	XRCC4
別名	DNA repair protein XRCC4 (X-ray repair cross-complementing protein 4)
遺伝子 ID	7518.0
SwissProt ID	Q13426
免疫原	ヒト XRCC4 由来の合成ペプチド（リン酸化 Ser260）

背景

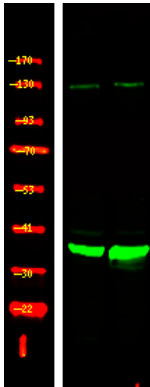
機能:二本鎖切断修復および V(D)J 組換えに必要な DNA 非相同末端結合 (NHEJ) に関与する。DNA および DNA リガーゼ IV (LIG4) に結合します。LIG4-XRCC4 複合体は NHEJ ライゲーション段階を担い、XRCC4 は LIG4 の結合活性を高めます。LIG4-XRCC4 複合

体の DNA 末端への結合は、DNA 依存性タンパク質キナーゼ複合体 DNA-PK のこれらの DNA 末端への組み立てに依存します。、PTM: モノユビキチン化されます。、PTM:PRKDC によってリン酸化されます。このリン酸化は DNA への結合には必要ないようです。CK2 によるリン酸化は APTX との相互作用を促進します。、PTM:Lys-210 の SUMO 化は核局在および組換え効率に必要です。ユビキチン化には影響を及ぼさない。、類似性: XRCC4 ファミリーに属する。、サブユニット: 溶液中でホモ二量体およびホモ四量体を形成する。ホモ二量体は LIG4 と会合し、LIG4-XRCC4 複合体は DNA 依存的に Ku p70/p86 二量体 (G22P1/G22P2) と PRKDC によって形成される DNA-PK 複合体と会合する。PRKDC とは直接相互作用するが、Ku p70/86 二量体とは相互作用しないと考えられる。XLF/Cernunnos と相互作用する。APTX および APLF と相互作用する。、組織特異性: 広く発現している。、

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



1:1000 希釈の一次抗体を用いて、A549 細胞 1 個と LPS 100 ng/mL 30 分処理した 2 個の細胞をウェスタンブロット分析した。二次抗体は 1:10000 希釈であった。